

2025年2月12日  
SCSK株式会社

## CDPによる気候変動分野の情報開示で、 最高評価の「Aリスト」企業に選定

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを運営する非営利団体である CDP が実施する気候変動分野の情報開示において、最高評価である「Aリスト」企業に初めて選定されました。



### CDP気候変動分野の評価

2024年度、CDPが実施する調査への回答企業数は世界の時価総額の66%以上を占める24,800社を超え、日本においてはプライム市場上場企業の70%以上を含む2,100社以上が調査票を通じた情報開示を進めています。温室効果ガス排出量の開示や気候変動への取り組みなどを調査するCDPの気候変動分野の調査において、特に優れた取り組みを行っている企業として、Aリスト企業に選定されました。

### SCSKグループの環境に関する取り組み

SCSKグループでは、マテリアリティの一つとして「地球環境への貢献」を謳っており、気候変動への対応を重要かつ優先的に取り組む経営課題として位置付けています。

温室効果ガス排出量の削減に向けて、SBTイニシアチブ<sup>※1</sup>の認定を取得した中長期的な削減目標として、自社(スコープ1+2)は2030年度までに2019年度比で47%削減、2050年までに100%削減、サプライチェーン(スコープ3)においては、2030年度までに2019年度比で28%削減を設定しています。

SCSKグループは、幅広い業界にわたるお客様やパートナー企業と連携しながら、温室効果ガス排出量削減や環境負荷低減に取り組むことで、気候変動への適応、環境に配慮した事業活動を実践し、より良い地球環境の実現

に貢献してまいります。

<https://www.scsk.jp/corp/csr/environment/index.html>

※1 世界の平均気温の上昇を抑えるために、企業に対して科学的な知見と整合した削減目標を設定するよう求めるイニシアチブ

### SCSKグループのマテリアリティ

SCSKグループは、経営理念「夢ある未来を、共に創る」の実現に向けて、社会と共に持続的な成長を目指す「サステナビリティ経営」を推進しています。

社会が抱えるさまざまな課題を事業視点で評価し、社会とともに成長するために、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しています。

本取り組みは、「地球環境への貢献」に資するものです。

－温室効果ガス排出量削減や環境負荷低減への取組みを通じて、より良い地球環境の実現に貢献

・SCSKグループ、経営理念の実践となる7つのマテリアリティを策定

<https://www.scsk.jp/corp/csr/materiarity/index.html>

### 本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 古屋

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。